

コベルコ建機

適用範囲		型式		SK210DLC	SK210DLC	SK210DLC	SK235SRDLC
仕様	最大高さ		mm	13.880	15.350	15.220	13.870
	ブーム及びアーム収納			2折れ	2折れ	3折れ	2折れ
ブーム及びアーム	基本ブーム		m	7.66	9.1	7.3	9.1
	第二ブーム		m			2.3	
	第三ブーム		m				
	第一アーム		m	4.9	4.9	4.4	4.9
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値			
安全装置	作業範囲規制装置 （図 3-2 参照）	警報装置の仕様		警報型	警報型	警報型	警報型
		警報鳴作業半径	mm	7.500	8.500	8.500	7.500
		警報鳴作業半径 （縦向）	mm	7.500	8.500	8.500	7.500
	ブーム降下 防止装置 （図 3-1 参照）	ブームシリンダーA					
		伸縮量	mm	4.2	4.2	3.0	4.2
		測定時間	分	5	5	5	5

特定解体用機械

SK235SRDLC	SK235SRDLC	SK260DLC	SK260DLC				
14.900	15.220	15.350	14.900				
3折れ	2折れ	2折れ	3折れ				
3.0	7.3	9.1	7.3				
3.75	4.69		2.3				
2.3							
4.4	4.9	4.9	4.4				
検査基準値							
警報型	警報型	警報型	警報型				
7.500	7.500	8.500	7.500				
9.000	7.500	8.500	9.000				
3.0	3.0	4.2	3.0				
5	5	5	5				

1. シリンダー伸縮量の測定

(1) 狙い

ブームの降下量（ブームシリンダーの伸び・縮み量）を測定することで『ブーム急降下防止弁』が確実に機能していることを確認する。

(2) 測定条件

- ①作動油の温度は 45℃～55℃で測定すること。
- ②水平堅固な平坦地であること。
- ③シリンダー交換直後は、シリンダー内のエア抜き後に実施すること。
- ④アームシリンダーは、ストロークエンドから 60mm 動かした状態（クッション範囲を外すこと）

(3) 測定姿勢

- ①アタッチメント装着無し
- ②バケットシリンダーは、固定する。
- ③アームシリンダー最縮から伸びた位置、バケットシリンダー最伸でブームフットピンとアームフットピンが一致する高さで保持させる。

(4) 測定

- ①エンジンキーOFF 後、5 分間経過時を測定すること。
- ②ブームシリンダーの測定位置Aを測定する。

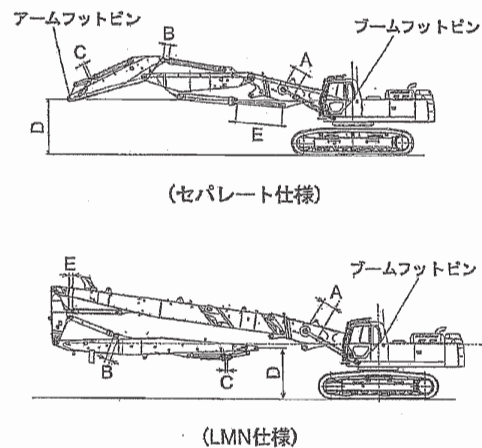


図 3-1 シリンダーの伸縮量測定

2. 作業範囲制限装置の確認

図に示す様にこの場合はブーム及びアーム角度に関わらず、解体具の先端がベースマシンの旋回中心から 7.5m の位置に動かしたとき作業範囲規制装置の警報音を確認する。

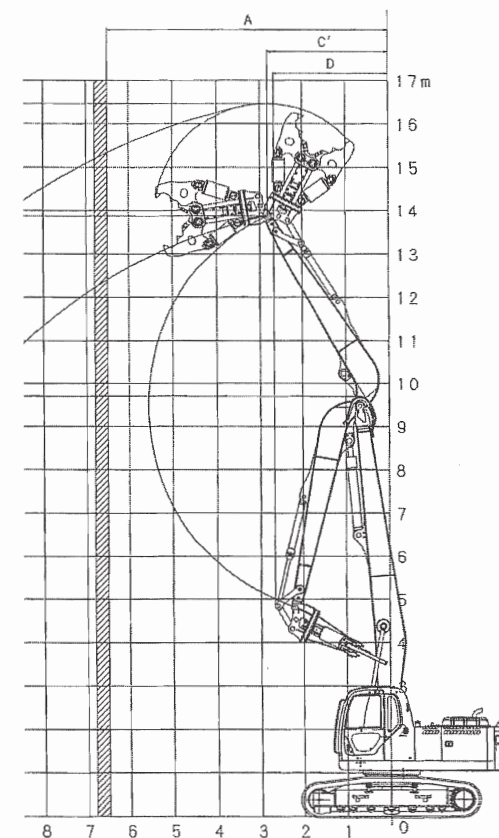


図 3-2 作業範囲制限装置の確認